

府中市市民協働・共創促進事業 自己・相互評価シート(振り返りシート)

事業名称	事業の名称を記入してください。(例)●●まつり		
事業実施者	事業の実施者名を記入してください。(例)●●会、府中市(●●●●課)		
出席者	振り返りに出席した方の名前を記入してください。 ●●氏(●●会)、●●(市)	シート作成者	シート作成者名を記入してください。 ●●
中間支援組織等事業協力者	事業実施者以外の協力者がいる場合、記入してください。 (例)自治会連合会、NPO法人府中市市民活動支援センター、社会福祉協議会、府中警察署		
事業目的	事業の目的を記入してください。(例)情報提供の場を提供することで、市政への理解促進に寄与する。		
事業内容	事業の概要を記入してください。(例)●●に関する講演、展示等		
事業目標	事業を実施することで達成したい目標を記入してください。(例)これまで興味なかった市民をターゲットにすることで、制度への理解促進を向上させる。		
役割分担	※ 役割分担表を添付してください(書式は自由です。)		

5段階で評価してください。

5=十分に達成された(80%以上)

2=あまり達成されなかった(20%~40%)

4=ほぼ達成された(60%~80%)

1=達成されなかった(20%以下)

3=課題があるもののおおむね達成された(40%~60%)

N=評価項目として適当ではない

「自分」欄は、自分が評価、  
「相手」欄は、相手が評価をしてください。

①事業計画段階

	自分	相手
目的共有の原則、対等の原則、相互理解の原則、自主性尊重・自立化の原則等協働の原則を踏まえて実施ができましたか。 (特筆すべき点や工夫した点などがあればご記入ください。)		
(例)例年実施している事業だが、改めて事業目的や昨年度の事業の反省や課題を共有するとともに、できること・できないこと・実施したいと思っていたことなどを話し合ったことで、組織の違いを再確認し、役割分担や事業スケジュールの見直しを早い段階で行うことができた。	5	5

②事業実施段階

	自分	相手
情報共有を図りながら、互いの強みや得意分野等をいかしながら実施ができましたか。 (特筆すべき点や工夫した点などがあればご記入ください。)		
(例)会議の開催回数を1回増やすことで、情報共有を図ることができたとともに、早い段階で事業スケジュールの認識のずれを埋めることができた。	5	5

③事業終了段階

	自分	相手
情報共有を図りながら、互いの強みや得意分野等をいかしながら実施ができましたか。 (特筆すべき点や工夫した点などがあればご記入ください。)		
(例)「協働」を意識したことで、より丁寧に相手と向き合うことができたため、事業終了後の振り返りで課題や評価できる点がこれまで以上に出てきた。	5	5

※市民の評価欄は市民が、市の評価欄は市が、それぞれ記入・評価します。記述欄に関しては、各自ご記入ください

■事業の成果

総合評価		評価 (合計)	(自由記入欄)
		(平均)	(例)協働を意識することで、事業効果や効率性、満足度が向上するとともに、双方の信頼関係の向上につながった。
事業評価	目標達成度	(自由記入欄)	(例)中間支援組織の協力をいただいたこと、役割分担を見直したことで、広報力が向上し、参加者アンケートでこれまで参加しなかった市民の参加者数が過去最高となった。
	対象者満足度	(自由記入欄)	(例)参加者アンケートからは「初めて参加したが楽しみながら学ぶことができた。」「また来たい。」などの意見が多く、8割以上が「参加して良かった」との回答があったため、満足度が高い結果となった。
	予算や人的資源規模	(自由記入欄)	(例)中間支援組織の協力をいただいたことで、人的資源の規模が向上した。予算については、年々厳しくなるものの、工夫することで対応はできている。
協働で実施した成果	事業実施者満足度	(自由記入欄)	(例)今回、「協働」を意識して実施したことで、信頼関係が向上するとともに、事業内容も格段に向上した。事業に関わった方からも「大変ではあったけれど、事業がやりやすくなったし、例年以上に楽しく出来て良かった。来年はもっと良くしていこう。」との声を多くいただくなど、これまで以上に満足のいく結果になった。
	相乗効果は得られたか	(自由記入欄)	(例)今回役割分担を見直すことで、それぞれが得意とすることをより一層発揮することができ、事業効果や団体の知名度の向上にもつながった。
中間支援組織等事業協力者の役割と協力による効果			
(例)今回初めて中間支援組織に協力いただいたことで、事業に興味をもっている団体の協力が得られ、事業内容や協力者の幅が広がるとともに事業の周知力の強化も図ることができた。			
協働して良かったことや協働で事業を実施するに当たって工夫したこと。			
(例)改めて双方の良さや得意不得意を理解することができた。年々団体も高齢化していくため、事業計画段階での打合せでの状況の確認が重要であることを認識した。			
協働で事業を実施するに当たって課題となったこと。			
(例)一部当日の役割分担の中で、責任の所在が曖昧になってしまった。事業実施当日の情報共有が形骸化していたため、来年度は事前の顔合わせを行い、情報共有を行うなど対応していく。			
今後協働事業を行うに当たって取り組んだ方がよいこと・改善したいこと。			
(例)協力者が増えたことで、進捗状況・情報共有をより一層強化する。			
その他自由記入欄			
(例)協働を双方が意識し、できること・できないこと、得意なこと・不得意なことを整理する中で、それぞれの思いを話すことができたことが、不満感の解消、信頼関係の向上、事業内容の向上につながったことは、双方新たな発見だった。また、自己評価や振り返りを行うことで、互いの思いが一致していることに気付くことができた。			